



## わい 矮性ひまわり

タキイ研究農場  
いけぐち ひであき  
池口 英明

# 矮性ひまわり 「F1 スマイルラッシュ」

夏の切り花の定番ひまわりは結婚式場を賑わせ、家の花壇を彩り、私たちを楽しませてくれます。近年は父の日のプレゼントとしてもすっかり定着してきました。

「F1スマイルラッシュ」は「F1サンリツチひまわり」ゆずりの端正な花型に分枝力を併せ持つ矮性種です。手軽に楽しめるひまわりとして開発され、さらに花壇でも長く楽しめるように改良を重ねてきました。たくさんの笑顔の花を咲かせたいという思いを込めて付けられたその名の如く、あふれんばかりの花を楽しめるひまわりです。

ひまわりは草丈の高いものというイメージが強く、草丈が低く品種改良されたひまわりにはまだ驚く人も多いのですが、矮性種は手軽に楽しめるひまわりとして営利ポット販売から家庭園芸まで幅広く利用されています。

「F1スマイルラッシュ」、その分枝力は直播では3週間くらいの間、側枝から次々と花を咲かせてくれます。通常の初夏出荷では約55〜60日で開花する早生品種です。営利出荷では、GW向けの早出しから、春物が減っていく父の日以降も連続的に8月くらいまで、夏花壇向けとして販売していくことができます。直播から鉢、ポットまでさまざまな栽培ができますので経営形態に合った出荷方法の選択が可能です。

## 栽培の方法

### ① 直播

緑化公園などの修景花壇に向く栽培方法です。あらかじめ元肥として10a当たりチッソ成分として7kgを目安に施用します。株間は40〜50cm、1〜2粒まきとし本葉の展開が終わるころ間引きします。発芽までは野鳥やネズミ、発芽直後はナメクジの食害に注意して

ください。通常の降雨が望める気候なら幼苗期の灌水を除き成り行き栽培で問題ありません。虫害の心配があるので適宜薬剤散布による防除をおすすめします。また、栽培途中で葉色が淡くなるなど、肥切れの兆候が見られたら液肥や固形肥料で追肥を行います。頂花が咲き終わった後の花柄はそのままで側枝の生育には問題ありませんが、好みにより刈り取るとすっきりした草姿を楽しめます。



↑直播した「F1スマイルラッシュ」。家の花壇でも手軽に楽しめる。

### ② 鉢栽培

やや大きめの鉢で父の日のプレゼント用などに向く栽培方法です。12cm鉢から18cm鉢での栽培が適します。基本的に土の量が多く根域が充実した方が旺盛に分枝するので、きっちり土詰めは行ってください。鉢にあらかじめ元肥の施された人工培養土などを詰め、直播します。よい鉢花とするためには下葉まできれいに濃緑を保つことが必要となるので、しおれたりしないように灌水管理には気を付けます。また、肥切れを起こさないように置き肥での追肥、もしくは週1〜2回程度の液肥灌水を継続的に行います。店頭で開花始めを迎えることができるように蕾の中央から少し花びらがのぞけるころが出荷適期です。

## 開発ストーリー

### 矮性ひまわりの歴史

草丈が低く鉢や花壇向けに作出された品種を矮性種と呼びますが、タキイの矮性ひまわりを振り返ると、1990年に大阪で開催された花の万国博覧会でグランプリを獲得した「ビッグスマイル」が本格的な営利向けとして最初の品種でした。現在、世界の切り花向けリーディング品種となっている「サンリッチひまわり」シリーズの最初の品種である「F1サンリッチレモン」の発表が1991年ですから、切り花「サンリッチひまわり」より1年早く登場していたことになります。この「ビッグスマイル」は子どもの目線で楽しめ、美しい花が開いたときには大きな笑顔をもたらすことができるようにとの願いを込めて名付けられました。その後、小ぶりでテーブルの上でも楽しめるようにと無花粉でよりコンパクトな草姿

の「F1グッドスマイル」が開発されました。

ただ、これらの矮性品種は切り花ひまわり同様、基本的には頂花を楽しむ品種であるため、もう少し花壇などで長く楽しみたいという要望もありました。そこで、従来の矮性品種より高い分枝力を備えかつ草姿がボール状にまとまり、ガーデンパフォーマンスにすぐれる品種を目標に開発が続けられます。分枝するひまわりの野生種は多くありますが、そのほとんどは花びらが長く芯が小さく、一般的なひまわりの印象とは異なる花姿をしています。さらに端正な「サンリッチ」ゆずりの花型と分枝力を併せ持つことを目指し、選抜・交配をかさね、「F1スマイルラッシュ」が誕生したのです。



F1グッドスマイル



ビッグスマイル



↑プレゼントなどにも使える鉢栽培。ポットの大きさは左から9cm、10.5cm、12cm、15cm、18cm、24cm。

### ③ポット栽培その1(花つき苗)

オーソドックスな矮性ひまわりの出荷形態です。9×10・5cmのポットに鉢栽培と同様に人工培養土をつめ播種します。基本的な栽培方法は鉢栽培と変わりませんが、鉢栽培に比べ土の容積がはるかに少ないので乾燥と肥切れにはより注意が必要です。ポット栽培では写真のように頂花と小さな側芽を持つ姿に仕上がります。こちらも店頭での開花始めを考慮し出荷します。



↑頂花と小さな側芽を持つ美しい姿の花つき苗。

### ④ポット栽培その2(若苗)

ポット苗定植後に「F<sub>1</sub>スマイルラッシュ」の分枝力を最大限発揮させるための若苗出荷です。未開花の苗での販売になりますのでラベル付きでの販売がおすすめです。

栽培方法は花つき苗の場合と変わりませんが、栽培途中の若苗で出荷します。若苗を消費者が購入することで定植後の根域がしっかり発達し、直播したときに近い分枝が期待できます。写

## 育苗期間別の苗姿と定植後の姿



← 3週間育苗苗(左)とその定植後(右)。



← 4週間育苗苗(左)とその定植後(右)。

真のとおり10・5cmポットで3〜4週間生育した苗なら露地に定植した後もスムーズに生育し、たくさんの花を咲

かせてくれます。3週目に出荷し店頭で4週目までに販売することが理想の出荷・販売期となります。

## Q & A

**Q.** ほかに「F<sub>1</sub>スマイルラッシュ」でおすすめの栽培方法はありますか？

**A.** 基本的な栽培に比べるとひと手間がかかりますが、ポットでのピンチ栽培や鉢での複数本仕立てを上手に行うとひと味違った商品として仕上げることができます。

ピンチ栽培では、頂花が見える前に茎頂を切除します。写真は10.5cmポットで本葉が8枚展開したころにピンチを行い栽培したものです。ピンチする節数や時期により草姿が変わりますので、ぜひオリジナルのピンチ方法

をご考察ください。

また、複数本仕立てでは15〜18cm程度の鉢を用います。こちらはこれまでの鉢への直接の播種でなく200穴か128穴トレイで一度育苗を行います。その後、1鉢に3本ずつ移植していきます。移植時のポイントは生育ステージや大きさのそろったプラグ苗をしっかりと選んで移植することです。トレイで選別することによりその後の生育を均一にし、鉢内での開花差を小さくすることができます。ややロスも多くなる栽培法ですが、その分高単価が期待できるでしょう。



↑ピンチ苗開花。ピンチする節数や時期によって草姿が変わる。